

会 議 結 果

会議名	平成 30 年度西尾市子ども読書推進委員会
日 時	平成 30 年 11 月 28 日（火） 14:00～15:30
場 所	西尾市立図書館 会議室
出席者 【敬称略】	委員長 安井克彦 委員 内藤貴久、筒井清人、山口留美子、今井芳子、磯貝真澄、 小嶋隆広、今井聡子 事務局 原田 依子、生田 美恵
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会次第 ・第 3 次施策達成度進捗状況表（平成 29 年度実績） ・ ” ” （平成 30 年度見込み） ・図書館資料の配送貸出について ・小学生の読書に関する実態調査・研究

委員会の中で出されたことは以下のとおり。

1 あいさつ

安井委員長あいさつ

子どもの読書は非常に大切であり、いろいろな方が語っておられる。今、話題になっている野球選手で中日の根尾選手も大変な読書家だそうである。活躍を期待している。

子ども読書といえば「朝の読書の時間」である。子どものみならず学校中の職員が読書をした。とても静寂な時間で皆が集中していたことを思い出す。子どもの読書についてご意見を多方面からご意見をお願いしたい。

2 議題

(1) 西尾市子ども読書活動推進計画の進捗状況について

委員長 子ども読書推進計画は平成 29 年 10 月からスタートしている。まずは、第 3 次達成度進捗状況表（平成 29 年度実績）について、事務局から説明してください。

事務局（説明） 第 3 次計画は、平成 29 年 10 月からですが年度の途中ですので平成 29 年度の実績値を、それぞれの担当する課から提出いただき、取りまとめたものの評価（案）を作成しました。4 段階の評価として、◎は「もう既に目標を達成している」項目で、全体の 54 項目のうち 22 項目。○は「このまま取り組んでいけば、5 年後の目標値は達成できる」で 18 項目。△は策定時の実績値を下回っている、或いは目標達成が危ういで 10 項目。×は「未実施、達成が難しい」で 3 項目。－は平成 29 年度には該当しない項目で 1 項目です。×について詳細を説明。

基本方針 1-1-(6)は、平成 29 年度には実績がなく、担当課の見直しについて意見をいただいている。事務局としては、地域での開催する施策を立案、企画していくには生涯学習課が担当し、図書館は協力していくスタンスでいきたい。

基本方針 3-1-(1)は、読み聞かせの推進のための重要な図書館の施策であるにもかかわらず、前年実績を下回っている。

基本方針 4-4-(1)は、図書館システムの問題であるが、横須賀・西野町ふれあいセンターに図書館システム導入を検討しましたが、利用度が低く費用対効果からも断念した。

委員（意見） 平成 29 年度の×は残念である。年度の途中からの計画であり、事業計画の時期をすぎていたのが要因であったと思います。また、イベントや講座内での事業の取り組み方などを図

書館から説明していただく方が事業を進めやすいということです。図書館を主管課に変更してはという意図の担当からの意見です。次年度からも子ども読書に関する事業の実施をしていきたい。

委員長（意見） 基本方針 2-3-(1)「空調設備を全校の図書館に配置する」が 91%であるが、平成 29 年度は米津と平坂を施工したと記載されているが、残り施工していない学校はどこか。

事務局（回答） 平成 30 年度見込みに室場小学校に施工の記載があります。施工していない学校はわかりません。

委員長（意見） 全部完了ではないようなので、今年のような酷暑への対策として早くすすめて良い環境にして欲しい。それでは、平成 29 年度実績の評価についてはこれでよいですね。

委員長 次に、第 3 次施策達成度進捗状況表（平成 30 年度見込み）について、事務局から説明をしてください。

事務局（説明） 見込みについては、やはり年度途中であるので、“平成 29 年度並み”という記載も多くありますが表にまとめてありますので見ていただいたとおりです。しかし、この表に記載のない事業で事務局が把握しているものを説明させていただきます。

基本方針 1 に該当する事業ですが、健康課の「マタニティクラス」の中で、妊娠期から読書の楽しさや絵本について伝える取り組みをカリキュラムに加え、図書館員が年に 4 回出向いてお話しをしています。また、児童クラブの児童厚生員の研修で「子どもへの読み聞かせの方法」を実施されたことです。図書館に事前に相談をいただき資料等でご協力させていただきました。

委員（意見） 平成 29 年が開始、終わりは平成 34 年の 5 年間ですが、調査年は平成 27 年となっているが何故か。

事務局（回答） 平成 27 年度に調査し、平成 28 年度に計画の策定作業を行ったためです。

委員（意見） 目標値はどのように定めたものなのか。財源の必要な事業は仕方ないが、その他のことなら目標であるので 100%かとも思うがどうしてか。

⇒計画策定時に 100%にしたいのはやまやまだが、それより手の届く目標にし達成していきたいとの考えで実現可能な数値が目標設定されたものです。

委員（意見） 図書館からですが、「図書館に絵本の話や読み聞かせをして欲しいのだがどのように依頼してよいか」との声に、直接図書館に依頼に来られない方も含め、生涯学習課の出前講座からの申し込みを利用いただいています。また、平成 29 年度×であった「読み聞かせに関する講座を実施する」は、図書館(本館)での開催もそうですが、今年 4 月にリニューアルオープンした一色学びのは絵本を特色とした事業運営を行うため、「三浦太郎のトークショー」などを実施するなど、実績を上げています。

基本方針 3-4-(4)「障害のある子どもが利用できる資料を充実する」の関連ですが、本年度図書館では「障害者サービスを充実する」を運営目標施策としており、資料の充実もそうですが障害者理解やサービスについて研修を実施しています。

委員（意見） 外国籍の子どもに図書館で利用できる本などを紹介するなど対応してほしい。

事務局（回答） 鶴城小学校での外国籍の子どもたちを対象とした早期適応教室などで、図書館利用をしてくれている。また、基本方針 2-1-(5)で「外国語図書を充実する」で 1 月の図書館担当者会にて周知予定となっている。また、各学校に整備することもそうだが、図書館の外国語の児童図書の利用についても周知していきたい。

委員（意見） 毎年 2 月頃に国際交流のイベントなどでも感じるが、子どもや保護者に図書館の利

用や外国語図書の情報が伝わるのが重要だと思う。

委員長 平成 31 年度の予定について事務局から説明をお願いします。

委員（意見） 基本方針 1-1-(4)「児童館・子育て支援施設等の図書コーナーを充実する」の施策で、図書館から保育園 21 園・児童クラブ 25 か所・子育て支援センター 6 か所に、毎月 1 回、絵本や紙芝居等を配送しています。しかし、現在、実施している施設は、個別に要望のあった施設のみで、すべての園に希望をとって実施していないので、アンケートで希望調査をしました。現在 38 園のうち 35 園回答をいただいた。現在実施の 21 園に加え、新たに 5 園希望がありました。図書館としては、配送スケジュールの調整が難しく、これまでと同内容のサービスをするのができませんので、保育園については、配送頻度を毎月から隔月に変更したいと考えております。なお、児童クラブ、子育て支援センターは引き続き毎月 1 回の実施としたいと思います。また、外国語絵本や点訳絵本の配送希望も併せて希望をお聞きしましたが、希望なしということでした。

もう一点ですが、基本方針 1-1-(3)「おやこ読書ノートを推進する」で、まだ、当初予算の要求段階ですが、平成 30 年度までは、職員が印刷し作成していましたが、3000 冊以上も配布するため、スポンサーを募り業者印刷で作成していく計画をしています。

委員（意見） 子育て支援センターが 6 施設ということだが、民間運営の保育園に併設している子育て支援センターはどのように対応するのか。

事務局（回答） 併設子育て支援センターにはアンケート調査をしていない。併設の子育て支援センターと単独の子育て支援センターでは本の置く場所など利用方法が違うので、併設のところは保育園扱いで隔月、単独のところは毎月実施していきたい。

(2) その他

事務局 基本方針 4-4-(1)に「子ども読書のホームページ」の関係ですが、本年度 11 月に図書館情報システムが更新しホームページも新しくなったので、ビデオプロジェクターで新ホームページをみていただく。

①子ども読書のページもでき、イベント、行事など子ども読書全体のことを載せている。

②学校支援サービス専用図書もホームページで検索できるようになった。

委員（意見） どれくらいの年代の人がホームページを見ているかわかるか。

事務局（回答） 年代まではわからない。

委員（意見） 図書館のバナーがあればもっとよくわかる。

委員長により平成 30 年度子ども読書推進委員会を閉会した。